| 科目ナンバリング | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | ILASセミナー ：身体運動の制御と学習<br>ILAS Seminar :Motor Control and Learning | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 人間・環境学研究科 教授　　久代　恵介 | | |
| 群 | 少人数群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | ゼミナール（対面授業科目） |
| 開講年度・<br>開講期 | 2025・前期 | 受講定員<br>(1回生定員) | 10 (10) 人 | 配当学年 | １回生 | 対象学生 | 全学向 |
| 曜時限 | 月5 | 教室 | 吉田南総合館東南棟101演習室 | | | 使用言語 | 日本語 |
| キーワード | 身体運動 / 運動制御 / 運動学習 | | | | | | |

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

**[授業の概要・目的]**

本セミナーでは、身体運動の制御と学習に関する初学者向け教科書を読み進めながら、身体運動が発現され、洗練されていくしくみと理論を学びます。 身体運動が脳で作られるしくみ、作られた運動が骨格筋から出力されるしくみ、さらに、おこなわれた運動が評価・修正され運動学習が促進されるしくみと理論について、運動科学・スポーツ科学・神経科学分野の知見をもとに学んでいきます。本講義を通じて、普段われわれが経験的におこなっている日常の運動やスポーツの動作を、学術的な視点から捉え直します。

**[到達目標]**

本セミナーを通して、運動の制御と学習に関する基礎知識の習得を目指す。
普段経験的に体得しおこなっている身体運動について、学術的な観点から洞察する力を養う。

**[授業計画と内容]**

教科書：『身体運動学―行動選択の規準と運動の経済性』W.A.スパロー（編）大修館書店 を用いて進める。

１）エネルギー消費と運動の正確性
２）ロコモーション（歩行）
３）運動の熟練
４）運動経済性
５）歩行・走行の相転移
６）運動学習におけるフィードバック
７）力学的パワーと仕事
８）周期運動
９）歩行における動力学・熱力学

上記の各章を１～２週に渡り行う。各章を受講生全員で分担し、毎回担当者が章の内容を発表する。担当教員がこれに解説を加える形式で授業を進める。

**[履修要件]**

特になし

**[成績評価の方法・観点]**

出席状況と発表内容により総合的に評価する。詳しくは授業中に説明する。

**[教科書]**

W.A.スパロー（編）　『身体運動学―行動選択の規準と運動の経済性』（大修館書店）
上記教科書を購入することを前提に授業を進めます。

ILASセミナー ：身体運動の制御と学習(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：身体運動の制御と学習(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

発表者は十分に準備を行うこと。
前回までの内容を理解しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

第一回目の授業には必ず出席すること。それが難しい場合は事前に担当者と連絡を取ること（kushiro.keisuke.5n@kyoto-u.ac.jp）。

[主要授業科目（学部・学科名）]